

宮城県 インターンシップ 参加者の声

令和6年度の宮城県インターンシップに参加していただいた方々からの感想を一部ご紹介します。

技術職インターンシップ

薬剤師



T大5年 Tさん

実地調査においては施設基準に適しているかどうかを確認することや、承認までの流れを学ぶことができ、大変勉強になった。インターンシップを通して、業務に関することだけでなく、地域や人々のために自分ができることについても学ぶことができ、良い経験を得ることが出来た。

農芸化学



M大3年 Sさん

職員の方々から、様々な質問に対して丁寧に答えていただき、県職員として働くイメージをより具体的に持つことができました。特に、県庁での業務は、現場との仲介役といった事務的な業務や、全体の統括などデスクワークを多く行なっていることが印象に残りました。

保健師



N大2年 Hさん

インターンは右も左も分からないため不安も大きかったのですが皆さんが丁寧に仕事内容や専門用語を教えてくださいましたために、業務の根拠を理解しながら参加することができました。期待していた何倍も充実した体験ができてとても良かったです。

農業



N大3年 Tさん

調査など現場に同行させていただき、新しい発見や学びがあり、とても良い経験になりました。調査については実際にやってみると大変でしたが、調査を行うからこそより良い農業になっていくのだと思い、調査の重要性を知ることができました。

畜産



H大3年 Sさん

畜産農家がどのように家畜を飼養して、畜産物を生産しているのか知っておくことの重要性、農家の方と目線を合わせる事、コミュニケーションを取る事の大切さ、について教えていただきました。どれも大切なことでとても勉強になりました。

総合土木(農学系)



K大3年 Oさん

ほ場整備事業について、大学の講義で学んだ内容を現場視察を通して理解を深めることが出来ました。また講義では知ることの出来なかった工事前の計画を立てる段階の業務について学ぶことが出来ました。

水産



H大3年 Tさん

印象に残ったのが大学の知識を生かすというよりは大学で学んだ方法を生かすということで日々の学業の大切さを感じた。測定に関しては大学で学んだ知識を活かすことができとても楽しく、普段学んでいることが社会に役立っているということを実感することができた。

林業



I大3年 Sさん

実際に現場視察を行った事で、現状を詳細にイメージすることができ、実際に職員の方々がどのような業務を行っているのかを知ることが出来た。また、県の業務だけでなく、企業の方々のお話も聞くことが出来、より宮城県の林業に対するイメージを広げることが出来た。

総合土木



T大3年 Jさん

インターンシップの座学と現場研修を通じて、土木系技術職員の業務理解が深まりました。座学で多くの部署の業務を知ることができ、現場研修ではドローンの飛行体験や港湾見学など、普段はできない貴重な経験ができました。

建築



C大3年 Aさん

公務員はデスクワークのイメージが強かったため、自分が思っていた以上に現場でする仕事が多く楽しかったです。仕事をしていく中で、建築基準法に触れることが多いため、講義で学んだことがどのような過程で使われていくかを知ることができて面白かったです。

園芸



I大1年 Nさん

先進的な技術を取り入れた試験も積極的に行い、県内の農業関係者の幅広いニーズに応えようとしている姿勢が感じられた。県内の他機関との連携も多く、異動で様々な現場での仕事が経験できることを知り、幅広い分野に接する機会のある仕事であることが分かった。

